

平成27年11月8日

フットベースボール

★たくさんの感動をありがとう！！

第02号

第14回関東フットベースボール連盟大会(昭島市陸上競技場)

上力今この員も感い揮ははで何申しとししをの心
げ、後まとお及、謝試し日あきとしてにまた見判配天
まそとしが陰び監の合白ごり安か訳し大いが上断し気
す。て皆。き無係、持連しのしてくい運し案な難が報
ご様誠事者コち続た練たて試思、営たのがしらで
支方のにに皆一でとブ習がお合っこ上。定らい朝は
援のあ大様チ一なレ成、りがてどや人のの状を雨
をり会方、杯り！果選ま終おもむ工天進況向と
ご理がをの審でこでを手すわり達な芝候行とかの
願解と終お判すど素精の。るまにしをととなえこと
いとう了力員。も晴一皆雨こすはと良ななり、と
しごす添、こ達ら杯さ天とが大強いっり、開で、
し協ざるえ役にし発んでが、変行こてま空催、



会長 淡路洋

開会式



第14回 関東フットベースボール連盟大会結果

会場：昭島市陸上競技場（東京都昭島市）

Aブロック(昭島市=ビリーヴブラックス、羽村市=ウエスタン・ミンクス、埼玉=リトルモンスターズ、市川市=宮久保子ども会)

チーム名	ビリーブブラックス	ウエスタン・ミンクス	リトルモンスターズ	宮久保子ども会	勝	敗	失点	順位
ビリーブブラックス		(6)-2	(2)-0	(6)-3	3	0	5	1
ウエスタン・ミンクス	2-6		1-7	2-4	0	3	17	4
リトルモンスターズ	0-2	(7)-1		(8)-5	2	1	8	2
宮久保子ども会	3-6	(4)-2	5-8		1	2	16	3

Bブロック(栃木市=川原田、昭島市=ヴィクトリー、羽村市=Rush、埼玉=下山田・栃谷)

チーム名	川原田	ヴィクトリー	Rush	下山田・栃谷	勝	敗	失点	順位
川原田		1-7	1-4	(3)-0	1	2	11	3
ヴィクトリー	(7)-1		0-4	(8)-0	2	1	5	2
Rush	(4)-1	(4)-0		(8)-0	3	0	1	1
下山田・栃谷	0-3	0-20	0-10		0	3	33	4

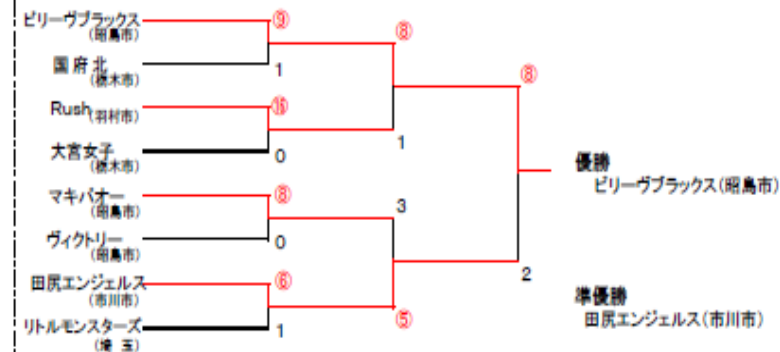
Cブロック(市川市=豊谷連合、栃木市=大宮女子、昭島市=マキバオー、羽村市=小作台ルーキーズ)

チーム名	豊谷連合	大宮女子	マキバオー	小作台ルーキーズ	勝	敗	失点	順位
豊谷連合		5-6	2-3	(6)-1	1	2	10	3
大宮女子	(6)-5		0-6	(4)-1	2	1	12	2
マキバオー	(3)-2	(6)-0		(4)-0	3	0	2	1
小作台ルーキーズ	1-6	1-4	0-4		0	3	14	4

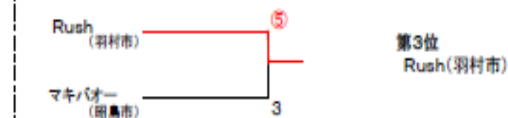
Dブロック(埼玉=サザンヴィクトリーズ、市川市=田尻エンジェルス、栃木市=国府北、昭島市=ビリーヴヴァイオレッツ)

チーム名	サザンヴィクトリーズ	田尻エンジェルス	国府北	ビリーヴヴァイオレッツ	勝	敗	失点	順位
サザンヴィクトリーズ		(8)-4	1-12	0-3	1	2	19	4
田尻エンジェルス	4-8		(6)-4	(4)-0	2	1	12	1
国府北	(8)-1	4-6		(1)-2	2	1	9	2
ビリーヴヴァイオレッツ	(3)-0	0-4	2-11		1	2	15	3

決勝トーナメント



3位決定戦



優勝 ビリーヴブラックス (昭島市)

“関東大会優勝”

キャプテン 今野織舞

1

私達のチーム「ビリーヴ・ブラックス」は関東大会優勝を目標にして、日々努力の練習をしてきました。そして中央大会とオーシャンカップ大会で優勝し、関東大会の切符を取る事が出来ました。このままいけば関東大会優勝だと思っていたら市民大会では準優勝になり、とっても悔しい思いをし、そこからチーム一丸となって必死に練習しました。その結果、関東大会で優勝する事が出来て一生の思い出になりました。ここまでチームを強くしてくれた監督・コーチに感謝の気持ちでいっぱいです。



ウエスタン・ミンクス (羽村市)

“関東大会”

小林歩未



日曜日、初めての関東大会でした。今まで練習してきてやっとでれた関東大会でした。私は初めての関東大会で雨だったので不安で緊張してなっとくのいく守備と攻撃ができなかったので全敗してしまいました。今まで、関東大会とか、いろいろな大会にでれるように練習をたくさんやってきたのに自分が緊張にまけたことが悔しかったので、次回の大会からは、緊張に負けないぐらいに練習を前より真剣にがんばっていきたいと思います。そして、あと3つの大会ではいい結果をのこしたいです。



準優勝 田尻エンジェルス (市川市)

“準優勝”

キャプテン 片桐涼子

2

私達は、関東大会優勝を目標にがんばってきました。

結果は準優勝で目標達成はできず、とっても悔しかったです。でも、ここまで連れてきてくれた監督や、一緒に戦ってくれた仲間がいたからできた準優勝だと思います。



リトルモンスターズ (秩父市)

“関東大会に出場して”

キャプテン 黒澤優衣



私のチームは、私が三年生のころから関東大会に出場しています。今年は、私にとって最後の関東大会。今まで練習してきた成果を発揮しようと、みんなと気合を入れて挑んだ試合。予選を突破し、決勝トーナメントに進みましたが、結果目標には届かず… 悔しい思いもありますが、自分の力は出し切りました。監督、コーチ、いつも一緒にいたチームメイトと汗をながして泣いて笑って励まし合って、フットベースに力を入れた日々、この日々を私は一生忘れることはないと思います。



3位 Rush (羽村市)

“がんばった関東大会。”

キャプテン 白井梓理

3

関東大会当日の朝、私は起きてからすぐ『よしっ、やるぞ!』という気持ちになりました。私達は予選を勝ち抜き決勝リーグへ進みました。ビリーヴに負けてしまったけど三位決定戦の前に気持ちをきりかえられたので集中して試合することができました。接戦だったけど守りきって勝てたのでうれしかったです。今までみんなでたくさん練習してきたよかったなと思いました。



宮久保子ども会(市川市)

“関東大会”

キャプテン 上田知佳子



予選敗退と言う残念な結果になってしまったけれど、関東には強いチームがたくさんいるんだなと思い、もっと強くならんなくちゃと思いました。来年は今の5年生、4年生に、また関東大会に行ってもらい、そこで優勝してほしいなと思いました。そのためには、もっと練習が必要だと感じました。



川原田（栃木市）

“関東大会に出場出来て”

キャプテン 小林流瑠



私達川原田チームは、六年が一人もいなくて、五年生と三年生以下のチームです。栃木市の関東予選で三位に入り目標だった関東大会出場が決まった時は、本当にうれしかったです。関東大会では、最初みんな元気がなくて、いつものプレーが出来ませんでした。一戦毎に元気が出てきて、ナイスプレーやナイスキックが出たし、一勝することが出来ました。決勝トーナメントには行けませんでした。この仲間とまた頑張って、来年はリベンジしたいです。

曾谷連合（市川市）

“貴重な経験”

キャプテン 高橋結芽



私は昨年の五年生の時に、初めて関東大会に出場する事ができた。今年六年生になり、キャプテンとしてまた、関東大会に出場する事を目標としていた。しかし、市川市の中で三チームの内二チームまで決まったあとの残り一チームを決定する試合で勝利し、目標としていた関東大会に出場する切符を手にする事ができた。そして関東大会当日とてもきんちょうした。生憎の雨だったけれどチームの心を一つにして頑張った。しかし結果はダメだったけれど一生の思い出になりました。

ヴィクトリー（昭島市）

“関東大会”

キャプテン 島田 滯



11月8日、日曜日に関東大会がありました。私は去年、初めて関東大会に出ました。とても緊張していたけど、楽しくプレーする事が出来ました。そして去年、優勝する事が出来ました。とってもうれしかったです。そして今年は、2度目の関東大会。今年私はキャプテンになりました。初めはうまくいかなかったけど、今はみんなと楽しくフットをする事が出来ます。今年は残念ながら優勝する事は出来なかったけど、みんなと楽しくプレーする事が出来てうれしかったです。

大宮女子フットベースボール（栃木市）

“関東大会出場”

キャプテン 船見莉央



私は、去年の十一月からキャプテンになって、この一年間関東大会で優勝する事を目標に頑張ってきました。栃木の大会では新人大会で準優勝、その後は春大会、夏大会、セントラルライオンズ杯、そして関東大会栃木予選と全て優勝して念願の関東大会に出場する事が出来ました。残念ながら関東大会ではベスト8で負けてしまったけど、最後にチームのみんなとの一体感を感じる事が出来てすごく嬉しかったです。指導してくれた監督、コーチ、お母さん達、そしてチームメートのお陰で一年間キャプテンを続けてこれました。これからは後輩が関東大会で優勝できるように応援していきたいと思います。

下山田・栃谷（秩父市）

“関東大会に出場して”

キャプテン 富田奈々美



私は、二年生からフットベースボールを始めました。去年や一昨年も関東大会出場を目指して頑張りましたが、かなわず、とても悔しい想いをしました。しかし、今年はチームのみんなと協力し、関東大会という大きな大会に出場できました。私は、関東大会に行くのが初めてでしたので、ドキドキワクワクしました。どんなチームがいるのか楽しみでした。私は、どのチームも礼儀正しくて、私達も見習はなくてはならない事ばかりでした。私達は、初めての出場で結果的には残念でしたが、たくさんの経験ができ良かったです。今回、悪天候にも関わらず素晴らしい大会ができたことに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

小作台ルーキーズ（羽村市）

“最後の思い出”

キャプテン 関 有紗



今年、小作台ルーキーズが初めて関東大会に出場できたのは、両親、監督、チームのみんなのおかげだと思いました。大会では、1試合も勝てませんでしたが、みんなとの絆が深まったと私は感じました。羽村では、6年生が出場できる大会があと1つしか無いので、最後の大会は優勝できるように、あと少しの練習でも気を抜かないでやりたいと思います。関東大会は、最後の思い出になることができ良かったです。

国府北（栃木市）

“最後の「絆」”

キャプテン 土金桃子

6年生として最後の舞台が関東大会でした。その日までたくさん練習をして大変なこともあったけれど、ここで負けても悔いはないと感じました。結果は2勝2敗で、ベスト8でした。惜しくも優勝には届かなかったけれど、チームとの絆や、練習してきた力は出せたので良かったです。また、キャプテンとしてチームをまとめられたこと、そして6年生と下級生です、最後の試合は忘れられません。また来年は私たちの順位を超えられるように、頑張りたいと思います。



ビリーヴヴァイオレッツ（昭島市）

“関東大会をおえて”

キャプテン 館山愛佳

今年の関東大会でビリーヴヴァイオレッツとして出場できたのはチームみんなの日頃の練習の成果が発揮でいたからだと思います。そして、関東大会では予選リーグで一勝しましたが、決勝リーグに行けなかったけれども、チームのみんなががんばりました。来年は、チームみんなでたくさん練習し、優勝目指してがんばります。



サザンヴィクトリーズ（蕨市）

“関東大会を経験して”

キャプテン 佐藤美香

私たちは、この日のためにたくさんの練習を重ねてきました。今年のみんなの目標は「決勝リーグに進出!!」でした。やはり、関東大会はどのチームもレベルが高く「勝つ」ということは難しかったです。けれど、今日の試合でみんなは悔しい思いをしました。この悔しい思いをバネに変え、次の大会では決勝リーグをねらいたいです。また、今日の試合では、「楽しむ」ということを忘れていました。だから、次はみんなが笑顔になれる試合をつくりたいです。



マキバオー（昭島市）

“関東大会に出場して”

福海汐音・奥平真理子

私たちにとって、今回の関東大会は大きな目標であり、今まで積み重ねてきた努力を集大成で発揮する場でもありました。去年は六年生がおらず五年生以下のチームで、なかなか思うような結果を残すことが出来ませんでした。六年生になり、今年こそはと練習を重ね、時が経つにつれ一回一回の練習、大会が尊く感じられました。ついに関東大会の一週間前になり、今まで以上に練習に力が入り、これまでとは違った、緊張感のある空気が張り詰めていました。また、去年までは緊張で雨になれば良いと思っていたら当日の朝が愛おしさでいっぱいでした。一回戦、二回戦と着々と試合を勝ち抜く中、「これでもう少しで終わりなんだ」と、しみじみ感じられました。そして準決勝に上がり、健闘の末敗北。持ち直すことが出来ず、三位決定戦も負けてしまいました。言葉も出ず、ただ悔しかったと立ち尽くすだけでした。私たちはこの関東大会を通して考えたことがあります。それは、準決勝で負けた時、優勝の可能性が無くなり呆然としている私たちに、応援してくれていたお母さん方の一人が、「これは価値のある負けだ。」と、厳しくながらも応援してくれた時、「プレーしている人だけで戦っている訳では無いんだ。」と思ったことです。そして、私はその応援や協力をプレッシャーでしか感じられなかったけど、後輩にそのことを気付かせることが出来るように、残り少しの練習、大会を悔しさをバネに頑張っていきたいと思っています。



優勝 ビリーヴブラックス(昭島市)

“関東大会関係者の皆様へ”

監督 柴田和彦

この度は関東大会優勝という素晴らしい賞を頂き、関わって頂いた全ての皆様に心から感謝申し上げます。ビリーヴの娘達の喜びも最高潮でした。それにつきましても、ビリーヴの保護者を代表して御礼申し上げます。さて、今年は“負けてはならない”プレッシャーの中、娘達は鍛錬し、研鑽を重ね、関東大会という大きな舞台で見事に舞ってくれました。そんな可愛い娘達を、誇りに思います。この一年の努力が、これからの彼女達の人生に於いて、最高の糧になってくれることを願うと同時に、フットベースに関わる全ての子供達にも、同じ様に素晴らしい人生が待っていることを願い、結びの言葉とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。



準優勝 田尻エンジェルス（市川市）

“二度目の関東大会”

監督 市川義昭



私の娘は二年生の時にフットベースを始め、最初は何度か見に行く程度でした。

その後Bチームの監督となり、今年出場した五年生が三年生の時から指導を始めました。毎週土日に一緒に練習するうち、この子達を勝たせてあげたいと思い、真剣に子供達と向き合ってきました。準優勝という結果には、私も子供達も満足していません。来年は必ず優勝できるよう一致団結し頑張っていきます。

3位 Rush（羽村市）

“ア。。メニモマケズ”

監督 臼井 賢



アメニモマケズ声枯れるまで、ヘロヘロになるまでボールを追い、準備してきた全てを大好きなあのコートの中に置いてこよう。選手達に伝え挑んだ関東本戦の旅。全6試合と暖かく包みこまれたあの瞬間よ、どうか子供達の未来へ繋がって欲しいと切に願います。最後に切磋琢磨させて頂いた各チーム、この日まで関東大会に向けて準備してくださった全ての方々に御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました！

川原田（栃木市）

“関東大会を終えて”

監督 石塚英司

今般の大会は、自身第12回大会（会場：市川市）に続き、2回目の出場となりましたが、チーム14名の内訳は5年生が6人、3年生以下が8人と大変若いチームで、この中で関東大会を経験した選手も1人と、子供達は経験も少なく大会の雰囲気も分からず当日を向かえましたが、栃木市の代表として予選リーグで敗退したものの、各支部との代表と全ての試合で得点をあげる事ができ、守備でも最小失点で凌ぐ事ができた事は、次期に繋がるいい経験、体験が出来たと思います。今大会も含め栃木市は、2年連続で入賞を逃していますが、市内チームの活性化は勿論の事、今まで以上にフットベースの魅力を子供達に伝えていくと共に、我々も一緒にいい思い出ができるように活動をしていきたいと、改めて思い直しました。今回の大会にあたり、様々な形でご支援、ご協力をいただいた方々に深く感謝いたします。これからも、フットベースを通じて、一致団結してガンバっていきましょう。ありがとうございました。

大宮女子フットベース（栃木市）

“関東大会を終えて”

監督 船見幸彦

十一月八日 各コートでは白熱した試合が行われた。決して天候は良くなかったが、それを感じさせない子供たちのやる気と各チームの監督や父兄の熱気が伝わってきた。我がチームもこの関東大会を最後に六年生が引退となるため、チーム一丸で優勝を目指し大会に臨みまし。・・・しかし、各地区代表の壁は高く、準々決勝で無念にも敗退。しかも悪夢のような三回コールド負け。子供達は試合途中、涙を浮かべながらもグラウンドで最後まで歯を食いしばって頑張ってくれました。悔いがあるとすれば、監督としてそこで子供達の力になってあげる事が出来なかった事・・・。ただこの大会は子供達の成長を感じ、またチームとして最後の最後で最高のチームに仕上がってくれた大会でした。監督としては六年生と一緒に引退となりますが、フットベースを通じて培った財産は子供達と大事にしていければと思っています。最後に悪天候の中、大会運営に携わった関係者の皆様、各チーム関係者の皆様、大変お世話になり有難うございました。

国府北（栃木市）

“関東大会”

監督 渡邊雅史

関東大会お疲れさまでした！六年生にとっては最後の大会、六年五名、五年生一名、四年生三名の主力メンバー、バランスのとれた素晴らしいチームです。予選リーグでは、優勝候補である田尻さんからの一勝にあと一歩及ばず、悔しい思いもありましたが、雨の中、子供たちの頑張りは凄かった。昨年を上回る、二勝一敗での決勝トーナメント進出、そして二年連続の「ベスト8」は、胸を張っていい最後であり、一年間だったと思います。コーチ、保護者の皆様、ありがとうございました。

関東フットベースボール連盟広報部

“編集後記”

部長 関本宇一

今年は、“関東大会初”の雨天開催でしたが、子ども達及び関係者の方々の情熱、熱気で無事終了できました。その雰囲気少しでも読者に伝えることを第一に考え、この新聞を編集しました。多くの方に読んで頂き、フットベースの良さを知ってもらいたと思います。また最後になりますが、ご多忙の中、この新聞にご協力頂いた全ての皆様に感謝を申し上げます。“ありがとうございました。m()m” ご意見、ご要望は、関東連盟ホームページ（<http://kantoh-footbaseball.com/>）の“掲示板”で受け付けておりますので、どしどしお寄せください。）